

令和4年度 推薦入学試験

筑波大学 人間学群 教育学類

「小論文」問題

試験実施日 令和3年11月29日

実施時間 午前10:00～12:00

〔解答上の注意〕

- 1 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子1冊、答案用紙4枚、下書き用紙2枚が配布されていることを確認しなさい。問題冊子は表紙を含めて5頁あります。
- 3 解答に当たっては、指定された答案用紙をそれぞれ使用しなさい。
- 4 解答は、指示がない限り、日本語で書きなさい。
- 5 採点対象となるのは答案用紙だけです。
下書き用紙に書かれた内容は採点の対象となりません。
- 6 「解答始め」の合図があつたら、すべての答案用紙の所定欄に氏名と受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 7 質問がある場合や、気分が悪くなった場合は、手を挙げなさい。

〔回収上の注意〕

- 1 4枚の答案用紙を、問題番号順に重ねなさい。
重ねたまま回収します。
- 2 問題冊子と下書き用紙は回収しません。持ち帰りなさい。

問題 次の英文を読み、以下の各問に答えなさい。

[Blurred text block 1]

[Blurred text block 2]

[Blurred text block 3]

[Blurred text block 4]

[Blurred text block 5]

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Illegible text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

注釈

PISA 生徒の学習到達度調査

equivalent 同等の

genes 遺伝子

multiplicity 多様

ingredients 成分

cross-fertilise 相互交流

synergisms 相乗作用

purview 範囲

conceptualisations 概念化

出典 : Kautz, T., Heckman, J. J., Diris, R., Weel, B. T. and Borghans, L. (2014) Fostering and Measuring Skills: Improving Cognitive and Non-Cognitive Skills to Promote Lifetime Success (Retrieved from <https://www.oecd.org/education/cei/Fostering-and-Measuring-Skills-Improving-Cognitive-and-Non-Cognitive-Skills-to-Promote-Lifetime-Success.pdf>) (一部改変)

問1 下線部(ア)を日本語に訳しなさい。

問2 下線部(イ)の non-cognitive skills は、どのような意味であり、最近の研究でどのような点が指摘されたのか。本文に即して具体的に説明しなさい。

問3 下線部(ウ)の内容に即して、non-cognitive skills と IQ にはどのような共通点があるのか、そして、non-cognitive skills にはどのような特徴があるのか、について説明しなさい。

問4 下線部(エ)で、While schools are important, they are far from being the principal source of the skills that matter. と指摘されている。本文の内容を踏まえながら、現在の教育にはどのような課題があるのか、そして、どうすればその課題を解決できるかについて、論述しなさい。(問4用の解答用紙を使って、600字以上800字以内で述べること。)